

研究情報公開文書: 観察研究（既存情報・試料のみを用いた研究）

項目	説明	
試料・情報の利用目的 及び 利用方法	研究課題名	閉塞性大腸癌に対する経肛門的イレウス管と大腸ステントの治療成績を検討する後ろ向き多施設共同観察研究
	研究目的	大腸癌のうち閉塞を伴う大腸癌（閉塞性大腸癌）は約 10%に認められます。従来は閉塞性大腸癌に対して緊急手術を行うことが多くありましたが、術後の合併症や死亡率が高いことが問題でした。近年は術前に減圧処置を行うことで緊急手術を回避する割合が増加しています。腸管の減圧方法として経肛門イレウス管と大腸ステントがあります。大腸ステントは減圧効果が高く、患者のQOL がよいとされますが、一方では腫瘍圧排によって癌の散布や拡散につながる可能性も指摘されています。本研究は術前に経肛門イレウス管または大腸ステントによる減圧を行い根治切除を行った大腸癌症例のデータを収集し、臨床病理的背景、手術方法・成績、長期予後を解析することで、閉塞性大腸癌に対する経肛門イレウス管と大腸ステント留置の治療成績を比較することを目的とする、多施設共同後ろ向き観察研究です。
	研究対象者	2008 年 1 月から 2019 年 12 月に当院 外科にて閉塞性大腸癌の診断で術前に経肛門イレウス管または大腸ステントを留置され、大腸癌の手術治療を受けた患者さん。
	研究期間	病院長が研究実施を許可した日 ~ 西暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック [X] が入った項目を利用します)	[] 血液 [] だ液 [×] 臨床検査データ [] 病理 [] 排泄物 [] その他 (記載して下さい) 組織 (尿・便) [] 毛髪 [×] 診療記録	
試料・情報の管理についての責任者	当院研究責任者	済生会横浜市南部病院 外科 虫明寛行 〒234-0054 横浜市港南区港南台 3-2-10 電話番号 045-832-1111 (代表)
試料・情報を利用する者の範囲	当院での実施診療科/部局等	外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	神奈川県立がんセンター 消化器外科 横浜市立大学医学部附属病院 外科治療学 横浜市立大学市民総合医療センター 消化器病センター
	海外へ試料・情報を提供する場合、国名も記載して下さい。	神奈川県立足柄上病院 外科 国際医療福祉大学鶴海病院 外科 横浜南共済病院 外科・消化器外科 藤沢湘南台病院 外科 平塚共済病院 外科 秦野赤十字病院 外科 東京品川病院 外科

* 上記の研究に情報を用いることを了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記「問い合わせ先」までご連絡ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が学会や論文などで公表されていた場合には、提供いただいた情報やデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表されるデータには特定の個人を識別することができる

情報は含まれません。

【問い合わせ先】

虫明寛行（むしあけ ひろゆき）

済生会横浜市南部病院 外科部長

〒234-0054 横浜市港南区港南台 3-2-10

電話番号 045-832-1111 (代表)